日本貨物鉄道株式会社平成21年度決算等に関する公告

平成22年8月31日

東京都千代田区飯田橋３丁目13番１号
日本貨物鉄道株式会社
代表取締役社長　小林　正明

1　平成21年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸借対照表の要旨

（平成22年３月31日現在）　（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
流動資産	38,848	流動負債	51,179
固定資産	327,691	固定負債	273,607
		負債合計	**324,786**
		株主資本	42,189
		評価・換算差額等	△ 436
		純資産合計	**41,753**
資産合計	**366,539**	**負債及び純資産合計**	**366,539**

損益計算書の要旨

（平成21年４月１日から平成22年３月31日まで）

（単位：百万円）

科目	金額
営業収益	152,232
営業費	153,750
営業損失	1,517
営業外収益	595
営業外費用	3,713
経常損失	4,635
特別利益	3,176
特別損失	2,547
税引前当期純損失	4,006
法人税、住民税及び事業税	175
法人税等調整額	△ 1,422
当期純損失	2,759

㈱　１　有形固定資産の減価償却累計額　321,435百万円
　　２　１株当たり当期純損失　7,261円52銭

2　主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　主たる事務所の所在地　東京都千代田区飯田橋３丁目13番１号
⑵　ディスクロージャー担当部署　総務部
⑶　電話番号　03―3239―9111

3　平成22年度の事業計画の概要

景気の先行きが依然不透明ななか、全社一丸となって、安全・安定輸送の確保に努めるとともに、販売活動の積極的展開、弾力的な輸送力調整、現業各部門の働き度の向上、間接部門の業務運営体制の抜本見直しなど、各般にわたる収支改善を実施する。

	輸送量の見通し		列車の運行量
	輸送トン数	輸送トンキロ	
コンテナ	2,138万トン	195億トンキロ	64百万キロ
車扱	1,018万トン	17億トンキロ	６百万キロ
計	3,156万トン	212億トンキロ	70百万キロ

㈱　上記の数値は、経済情勢の動向等により変更する場合がある。

4　平成21年度事業報告の概要

極めて厳しい経済状況が続くなか、「安全の確立」、「マーケットから選択される良質の商品づくり」、「徹底したコストダウン」を柱として、最大限の増収に取り組むとともに、輸送力の適正配置、投資、要員の規模等についての抜本的な見直しなど、徹底的な経費削減を行った。

5　国からの出資金及び補助金等の額（平成22年度予算）

なし

6　関係会社一覧（平成22年３月31日現在）

会社名	出資額	出資比率
八戸臨海鉄道株式会社	22,000万円	38.6%
仙台臨海鉄道株式会社	24,000万円	33.3%
秋田臨海鉄道株式会社	19,114万円	38.2%
福島臨海鉄道株式会社	19,500万円	45.3%
鹿島臨海鉄道株式会社	46,000万円	37.5%
京葉臨海鉄道株式会社	66,110万円	33.9%
神奈川臨海鉄道株式会社	54,300万円	39.4%
名古屋臨海鉄道株式会社	73,710万円	46.9%
衣浦臨海鉄道株式会社	58,902万円	39.3%
水島臨海鉄道株式会社	30,000万円	35.3%
日本オイルターミナル株式会社	38,080万円	47.6%
日本運輸倉庫株式会社	16,620万円	55.4%
株式会社オー・エル・エス	30,700万円	48.0%
関西化成品輸送株式会社	7,200万円	40.0%
株式会社飯田町紙流通センター	40,000万円	48.2%
株式会社大阪鉄道倉庫	12,755万円	51.0%
敦賀ターミナル株式会社	8,100万円	27.0%
株式会社東京液体化成品センター	21,000万円	50.0%
セメントターミナル株式会社	25,000万円	50.0%
北海道農産品ターミナル株式会社	7,000万円	46.7%
全国通運株式会社	40,000万円	50.0%
日本フレートライナー株式会社	10,000万円	50.0%